



# 第2期 久留米市食料・農業・農村基本計画

【平成27年度 実績報告】

【平成28年度 実施計画】

久留米市農政部

## 1. 平成 28 年度久留米市予算の概要

久留米市の平成 28 年度の農林水産業予算は約 42 億円で、一般会計歳出予算 約 1,345 億円の約 3.1%を確保しています。

### 【久留米市一般会計予算 歳出（目的別）】 ※ 3 月補正含む

	H27年度		H28年度	
	予算額	対前年度・伸び率	予算額	対前年度伸び率
農林水産業費 (全体予算比)	3,756百万円 (2.6%)	+360百万円 +10.6%	4,239百万円 (3.1%)	+529百万円 +14.0%
歳出予算合計	147,684百万円	+3,788百万円 +2.6%	134,528百万円	△13,156百万円 △8.9%

### 【H28 年度予算 一般会計 6 款農林水産業費】 ※ 3 月補正含む

区分	金額(千円)
1 農業費	4,122,404
1 農業委員会費	145,397
2 農業総務費	642,660
3 農業振興費	1,612,609
4 畜産業費	446,474
5 農地費	666,768
6 国土調査費	3,972
7 農業開発費	604,524
2 林業費	114,213
1 林業総務費	60,298
2 林業振興費	53,915
3 水産業費	2,581
1 水産業振興費	2,581
合計	4,239,198

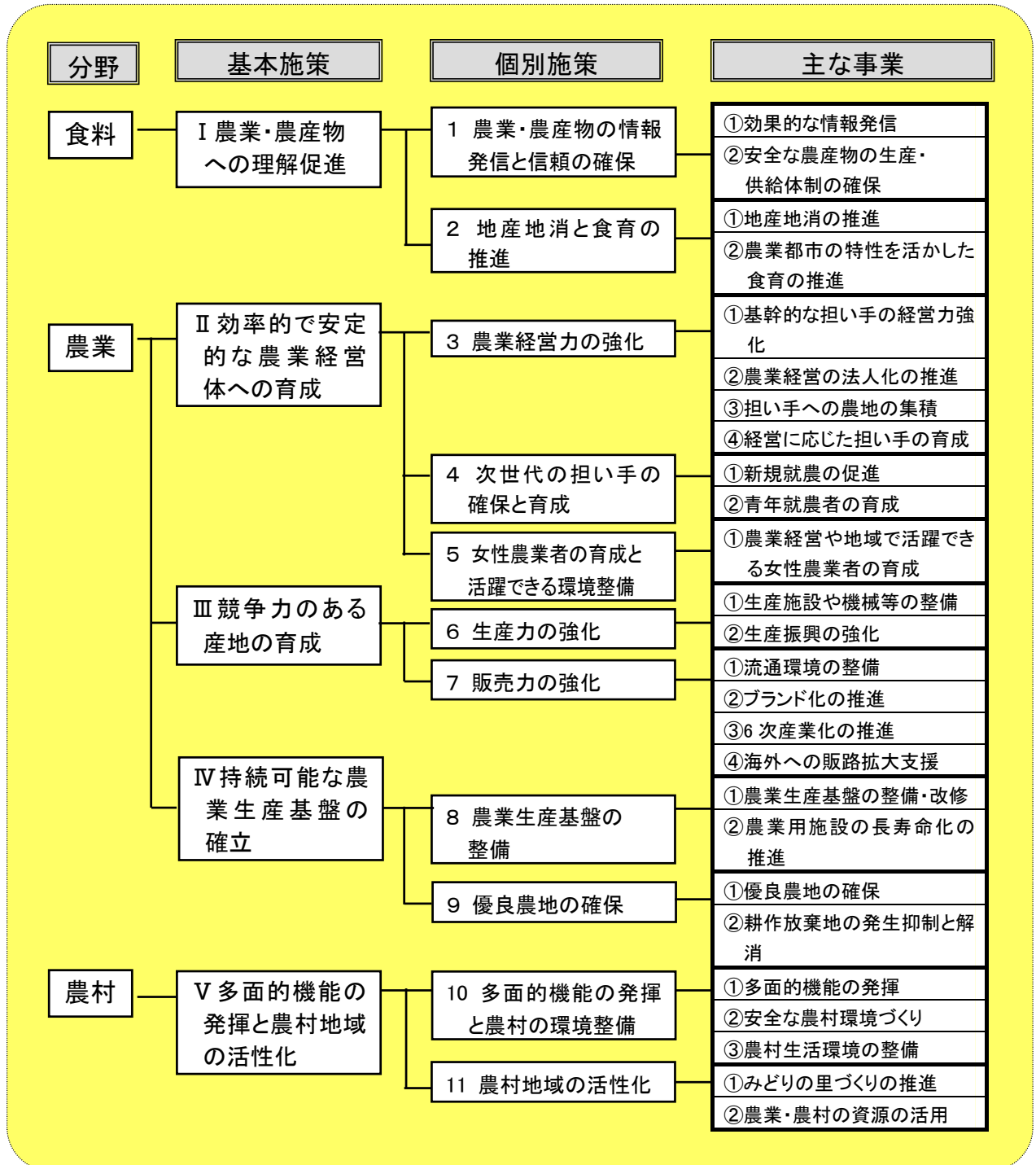
### 【H28 年度予算 特別会計】

事業名	金額(千円)
4 中央卸売市場事業	341,000
10 地方卸売市場事業	21,000
11 農業集落排水事業	238,000

## 2. 第2期計画の施策体系

基本的な考え方：市民みんなで参加する久留米の食と農

全体目標：職業として選択できる魅力ある農業の実現



### 3. 施策ごとの「平成 27 年度実績報告」及び「平成 28 年度実施計画」

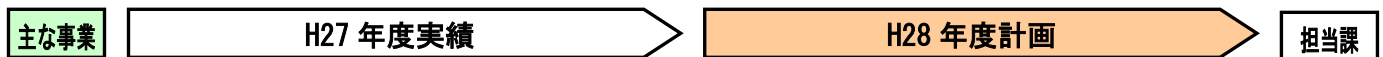
#### 【成果指標】

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
農業都市への市民の理解度	%	27.6 (H26)	60	—	—	—	—	60
農業・農村の持つ多面的機能の認知度	%	51.2 (H26)	54.5	—	—	—	—	65
販売金額等 1 千万円以上の認定農業者	%	74	算出中	—	—	—	—	80

#### 基本施策 I : 【食料】 農業・農産物への理解促進

##### 個別施策 1 : 農業・農産物の情報発信と信頼の確保

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
農業関連イベントの毎年度の来場者数	万人	58.7	61.2	—	—	—	—	65



#### 1. 安全な農産物の生産・供給体制の情報発信

① 効果的な情報発信	<p><b>環境保全型農業の PR</b> カバークropp（レンゲなどの植物を利用した土壌の地力確保の取組）ほ場 50 箇所に PR 看板を設置した。</p>	<p><b>環境保全型農業の PR</b> 環境保全型農業を実施している圃場の PR を行う。</p>	生産流通課
	<p><b>道の駅くるめの情報発信</b> ホームページで安全安心な農産物の情報発信（季節の旬の農産物の紹介及び調理方法などの紹介）を行った。</p>	<p><b>道の駅くるめの情報発信</b> ホームページで安全安心な農産物の情報発信を行う。</p>	みどりの里づくり推進課

#### 2. 久留米産農産物の魅力についての情報発信

① 効果的な情報発信	<p><b>久留米産農産物の PR</b> ＜市場関係者対象＞ ・大阪市場でのリーフレタスのトップセールス（H27.12.22） ＜消費者対象＞ ・若鷹応援スペシャルデー in 久留米（H27.5.23） ・くるっぱマルシェ in 久留米駅（H28.3.12） ・キラリ久留米農産物マルシェ（H28.3.20） ＜バイヤー対象＞ ・フードエキスポ九州（H27.10.6-8） ・アグリフード EXPO 大阪（H28.2.18-19）</p>	<p><b>久留米産農産物の PR</b> ＜市場関係者対象＞ ・大都市圏におけるトップセールス ＜消費者対象＞ ・キラリ久留米農産物マルシェ（シティプラザ等） ・シティプロモーション連動イベント ＜バイヤー対象＞ ・フードエキスポ九州（H28.10.4-6） ・アグリフード EXPO 大阪（H29.2）</p>	農政課
------------	--	---	-----

① 効果的な情報発信

<p><b>久留米つつじ等の PR</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR 久留米駅 (H27.4.2~4.10) や市役所 (H27.4.10~4/20) での展示。</li> <li>・ 地元関連企業等へアザレアを進呈し PR を行った。</li> </ul>	<p><b>久留米つつじ等の PR</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR 久留米駅や市役所での展示 (4月上旬)</li> <li>・ 久留米シティプラザオープニングに合わせた展示 PR</li> <li>・ 地元関連企業等へのアザレアの進呈</li> </ul>	<p>生産流通課 ↓ みどりの里づくり推進課</p>
<p><b>道の駅くるめを活用した情報発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JA くるめとの連携で、特別栽培米の PR 及びおにぎりの配布を行った。</li> <li>・ 季節の果樹のネット販売を行った。</li> </ul>	<p><b>道の駅くるめを活用した情報発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特設コーナー等による地域農産物の PR</li> <li>・ ネット販売機能を活用した情報発信</li> </ul>	<p>みどりの里づくり推進課</p>
<p><b>久留米つばき園を活用した情報発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 7 回久留米つばきフェアを開催し、緑花木の魅力向上を図る情報発信を行った。</li> </ul> <p>(フェア全体来場者:45,893 人(9 日間))</p>	<p><b>久留米つばき園を活用した情報発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 8 回久留米つばきフェアを開催し、緑花木の魅力向上を図る情報発信を行う。</li> </ul>	<p>みどりの里づくり推進課</p>
<p><b>久留米市世界つつじセンターを活用した情報発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新品種「春の夢」「花さより」等について、つつじフェアで PR を行った。</li> <li>・ 一般開放による久留米つつじの PR</li> </ul>	<p><b>久留米市世界つつじセンターを活用した情報発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新品種「春の夢」「花さより」等について、つつじフェアで PR を行う。</li> <li>・ 一般開放による久留米つつじの PR。</li> <li>・ 既存 HP の改修による効果的な PR。</li> </ul>	
<p><b>久留米ふれあい農業公園を活用した情報発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ みどりの里・収穫フェアを開催し、地域農産物の販売・情報発信を行った。</li> <li>・ 市民農園の利用促進 (H27 利用率 92%)</li> </ul>	<p><b>久留米ふれあい農業公園を活用した情報発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ みどりの里・収穫フェアの開催。</li> <li>・ 市民農園の利用促進。</li> </ul>	
<p><b>中央卸売市場による情報発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市場まつり (H27.11.22、1.1 千人)</li> <li>・ 夏休み子ども市場探検隊 (H27.8.1、42 人)</li> <li>・ 消費者見学会 (H27.10.3、29 人)</li> </ul>	<p><b>中央卸売市場による情報発信</b></p> <p>市場まつりや市場見学会を開催し、中央卸売市場の機能や旬の味覚情報を発信する。</p>	<p>中央卸売市場</p>

3. 農業・農村の公益性（多面的機能）についての情報発信

<p><b>冊子、イベント等による情報発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「第 2 期計画概要版」 (概要版の中で多面的機能を紹介し、周知を図った、5,000 部)</li> <li>・ 農業まつりでのパネル展示</li> </ul>	<p><b>冊子、イベント等による情報発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学生向けのチラシを作成し、学童農園等で配布を行う。</li> <li>・ 農業まつりでのパネル展示</li> </ul>	<p>農政課 ・ 農村整備課</p>
---	--	------------------------

4. 農業関連イベントによる生産者と消費者の交流促進

・ふるさとくるめ農業まつり H27.11.14～15、56 千人	・ふるさとくるめ農業まつり H28.11.12～13 予定、目標 68 千人	農政課
・くるめ食育フェスタ H27.11.14～15、56 千人	・くるめ食育フェスタ H28.11.12～13 予定、目標 68 千人	
・久留米つばきフェア H28.3.12～20、45.8 千人	・久留米つばきフェア H29.3 月中旬予定	みどりの里づくり推進課
・つつじフェア H27.4.16～17、2.6 千人	・つつじフェア H28.4 月中旬	
・みどりの里・秋穫フェア H27.11.7～8、20.7 千人	・みどりの里・秋穫フェア H28.11 月上旬予定	
・市場まつり H27.11.22、1.1 千人	・市場まつり H29.2.11 予定	中央卸売市場
・市場見学会 H27.8.1、H27.10.3、71 人	・市場見学会 H28.7 予定、H28.10 予定	
・久留米つつじまつり H27.4.5～5.5、253 千人	・久留米つつじまつり H28.4.5～5.5	生産流通課 ↓ みどりの里づくり推進課
・久留米植木まつり H28.2.6～23、50 千人	・久留米植木まつり H29.2 月予定	
・よ花っ祭 H27.11.7、2 千人	・よ花っ祭 H28.11 月上旬予定	
・久留米菊花展 H27.10.30～11.12、3 千人	・久留米菊花展 H28.10 月下旬～11 月上旬予定	
・グリーンフェスティバル H27.5.17、17 千人	・グリーンフェスティバル H28.5.22	田主丸産業振興課
・田主丸耳納の市 H27.11.21～11.22、55 千人	・田主丸耳納の市 H28.11.26～11.27 予定	
・菊花展 H27.10.30～11.5、0.3 千人	・菊花展 H28.11.1～5 予定	
・コスモスフェスティバル H27.10.10～11、56 千人	・コスモスフェスティバル H28.10.8～9 予定	北野産業振興課
・城島ふるさと夢まつり H27.9.19～20、30.2 千人	・城島ふるさと夢まつり H28.9 予定	城島産業振興課
・ふるさとみづま祭 H27.11.7～8、65 千人	・ふるさとみづま祭 H28.11 予定	三潁産業振興課
・みづま黒松春まつり H27.4.4～5、8 千人		

① 効果的な情報発信

5. 農業表彰事業

表彰の名称	内容	H27 年度実績	H28 年度計画	担当課
農業功労者表彰	本市の農林水産業の振興に寄与された方	11 人	団体からの推薦を募集し、選考、農業まつりにて表彰する。	農政課
ふるさと農業奨励賞	今後の活躍が期待されるリーダー	4 人		
農業名人	農林水産業に秀でた技術を有する方	1 人		

② 安全な農産物の生産・供給体制の確保

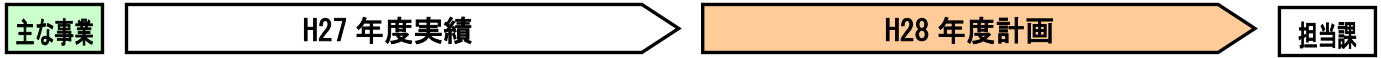
1. ポジティブリスト制度や GAP (農業生産工程管理) の推進

制度の周知	制度の周知	生産流通課
市役所及び 4 総合支所等で、ポジティブリスト制度・GAP のポスターやチラシを掲示するとともに、市の HP で制度等について掲載し周知を図った。	市役所及び 4 総合支所等でのポジティブリスト制度・GAP のポスターやチラシの掲示、市のホームページへの制度等の掲載により周知する。	

基本施策 I : 【食料】 農業・農産物への理解促進

個別施策 2 : 地産地消と食育の推進

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
地産地消を意識している市民の割合	%	49.4 (H26)	58.8	-	-	-	-	65



1. 久留米産農産物を購入・消費できる環境整備

① 久留米産表示の支援

<u>キラリ久留米ロゴマーク導入支援</u> ・ JA くるめ：包装資材版代支援 ・ JA みづま：包装資材版代支援 ・ 近郊出荷者連合会：包装資材版代支援 ・ 道の駅くるめ：出荷者用シール (補助実績 1,450 千円)	<u>キラリ久留米ロゴマーク導入支援</u> ・ 包装資材版代、シール作成支援など ・ 予定団体：市内 JA、近郊出荷者連合会、道の駅くるめ、地産地消推進店【新規】 (予算：1,700 千円)	農政課
--	---	-----

② 地産地消推進店の拡充・連携

<u>登録店舗の拡大</u> ・ 前年比 1 店増の 366 店舗	<u>登録店舗の拡大</u> ・ 推進店制度の周知を行う。	農政課
<u>地産地消推進店マップ</u> ・ 年度当初発行に変更のため、H28 年度は実績なし。	<u>地産地消推進店マップ</u> ・ 7,000 部発行 (予算：1,050 千円)	
<u>推進店への情報提供</u> ・ 6 次産業化交流会、農業まつり、市場まつり、農商工連携見本市などの出展について情報提供をした。	<u>推進店への情報提供</u> ・ 6 次産業化交流会、農業まつり、市場まつり、農商工連携見本市などの情報提供を行う。	
<u>ふるさとくるめ農業まつりの出店</u> ・ 地産地消推進店通り設置 (11 店舗)	<u>ふるさとくるめ農業まつりの出店</u> ・ 推進店の共同出店による PR を行う。	
<u>アンケートによる推進店への意向調査</u> ・ H28.1 実施、207 店/366 店回収	<u>アンケートによる推進店への意向調査</u> ・ H29.1 頃実施予定	
<u>地産地消通信の発行</u> ・ 事例紹介(市庁舎 2 階カフェテリア)、リーフレタスの紹介等 (H28.3 発行)	<u>地産地消通信の発行</u> ・ 年度内、3 回程度発行予定	

③ 学校給食への導入支援

<u>地場農産物導入支援事業</u> ・ 久留米市学校給食会、城島地域集団給食地場特産農産物導入推進協議会に対し地場農産物の導入を支援した。 (実績 1,418 千円)	<u>地場農産物導入支援事業</u> ・ 久留米市学校給食会、城島地域集団給食地場特産農産物導入推進協議会に対し、地場農産物の導入支援を行う。 (予算 1,418 千円)	農政課
<u>JA くるめ青年部じゃがいも導入</u> ・ 規格品 6.1t を学校給食へ納品。	<u>JA くるめ青年部じゃがいも導入</u> ・ 規格品 7.2t を学校給食へ納品予定。	

④ 中央卸売市場の市内流通の促進

<u>生産者と市場関係者との意見交換</u> ・ JA くるめ、久留米青果(株)及び市農政部で久留米市中央卸売市場への出荷に関する意見交換会を開催 (H27.7.9 実施)。	<u>生産者と市場関係者との意見交換</u> ・ JA くるめ、久留米青果(株)及び市農政部の意見交換会を継続開催予定。	中央卸売市場
--	---	--------

① 地産地消の推進



1. 久留米市食育推進プランの推進

① 食育推進会議の活動支援

<p><b>食育フェスタの開催</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>11月14・15日、来場者56,000人</li> <li>体験イベント：8コマ、223人参加 (ふりかけ・ベジロススープ作り、味噌屋のだご汁作り等) (補助実績：1,810千円)</li> </ul>	<p><b>食育フェスタの開催</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クイズコーナーや親子で参加できる調理体験などを中心に、体験しながら食育について学べる内容。 (11月12・13日予定)</li> </ul>	<p>農政課</p>
<p><b>4つの部会の活動支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども食育部会、食と健康部会、地産地消部会、食の循環部会の活動を支援した。 (補助実績：627千円)</li> </ul>	<p><b>4つの部会の活動支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども食育部会、食と健康部会、地産地消部会、食の循環部会の食育フェスタに関する活動支援。 (予算：250千円)</li> </ul>	
<p><b>食育通信の発行</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎月、食育友の会や小中学校等へメール送信</li> <li>イベントのお知らせ等郵送：4回</li> </ul>	<p><b>食育通信の発行</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎月メール送信</li> <li>郵送で4回送付予定</li> </ul>	

② 第3次食育推進プランの策定

平成27年度、食育推進会議で5回の審議を行い素案としてまとめ、パブリック・コメントや久留米市議会の調査を経て、平成28年3月末に策定した。(計画期間：H28～H32年度)  
平成28年度、本冊(900部)および市民PR向けの概要版(5,000部)を作成する予定。  
(予算796千円)

③ 食育推進団体表彰

食育月間(H27.6月)に募集し、食育フェスタ(H27.11月)で表彰式を行った。

- 功績表彰部門：4団体
- 活動表彰部門：6団体

2. 農業や久留米産農産物への理解促進

<p><b>久留米産農産物の料理講習会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>久留米産農産物を使った料理講習会を食生活改善推進員協議会に委託。 (市内各所30回実施) (委託料：710千円)</li> </ul>	<p><b>久留米産農産物の料理講習会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食生活改善推進員協議会委託 市内30回開催のうち、5回を子育て世代向けに実施。 (予算714千円)</li> <li>子育て世代向け料理教室【新規】 民間企業のノウハウを活用した料理教室の開催と情報の発信 (年1回、予算400千円)</li> </ul>	<p>農政課</p>
<p></p>	<p><b>レシピ集の発行</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度に食進会に委託して実施した料理講習会のレシピ集を発行。 (3,600部、6月発行、予算500千円)</li> </ul>	

②

農業都市の特性を活かした食育の推進

<p><b>学童農園設置事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学生を対象に田植えなどの体験を通じた農業への理解促進。 (40校、補助実績 4,000 千円)</li> </ul>	<p><b>学童農園設置事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校全校 46 校へ推進 (予算 4,600 千円)</li> </ul>	<p>生産流通課</p>
<p><b>消費者体験交流事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業団体等が実施する消費者交流事業に対し支援を行った。(水稲の農作業体験、じゃがいもやぶどうなど収穫体験) (11 団体、補助実績 1,050 千円)</li> </ul>	<p><b>消費者体験交流事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業者が実施する消費者交流事業に対し支援を行う。 (14 団体、予算 1,400 千円)</li> </ul>	

【基本施策 I 「農業・農産物への理解促進」：H28 年度施策の方向性】

H27 年度は、市内外での各種イベントなどを通して、農業・農産物の理解促進に取り組んだ。引き続き市民の理解と信頼の確保のため、安全な農産物を生産する取組や農業の持つ多面的機能などについて、様々なツールやメディアなどを活用し、効果的な情報発信に取り組む。

第 1 期計画からの継続目標指標である「地産地消を意識している市民の割合」については、若い世代ほど低いという結果が出ており、子育て世代をターゲットとした料理講習会に新たに取り組むなど、地産地消の意識向上を目指す。

また、九大連携による調査結果・提言を踏まえ、新たに地産地消推進店に対し「キラリ久留米（くるっば）ロゴマーク」の掲示支援などに取り組むなど、市域におけるプロモーションを強化し、市民の久留米産農産物への認知度向上や農業都市としての認知度向上を目指す。

基本施策Ⅱ：【農業】効率的で安定的な農業経営体への育成

個別施策3：農業経営力の強化

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
集落営農法人数	組織	15	26	—	—	—	—	45
認定農業者等の農地集積率	%	44.6	45.4	—	—	—	—	60

主な事業	H27 年度実績	H28 年度計画	担当課

1. 認定農業者への経営力向上支援

<p><b>認定農業者の認定</b> 再認定や新規認定者の農業経営改善計画の作成支援を行った。 ・ H27 年度末 841 経営体(前年比+20) 更新 146 人、新規認定 56 人</p>	<p><b>認定農業者の認定</b> 再認定や新規認定者の農業経営改善計画の作成支援を行う。</p>	農政課
<p><b>農業経営支援研修会</b> 農商工連携見本市と同時開催により「地理的表示研修会」を開催した。 ・ H28.1.22、参加者 50 人 講師：九州農政局 若藤 嘉史氏 GI サポートデスク九州・沖縄エリア マネージャー 長谷川 潤一氏</p>	<p><b>農業経営支援研修会</b> ・ 農政情報や今後の経営に参考になる内容の講演会を開催する。 (農商工連携見本市と同時開催予定)</p>	
<p><b>認定農業者協議会活動支援</b> 各地域 5 つの協議会の活動支援。 (補助実績：2,476 千円)</p>	<p><b>認定農業者協議会活動支援</b> 各地域 5 つの協議会の活動支援。 (補助実績：2,476 千円)</p>	

2. 集落営農法人化後の支援

<p><b>法人経営力強化支援事業</b> (2 件、補助実績 49 千円) ・ 経営マネジメント講習会 税理士や社会保険労務士による講習会 (H27.7.1 実施：22 組織) 法人間の意見交換会 ・ 他県の先進組織の代表者を招聘して意見交換会 (H28.1.13 実施：13 組織)</p>	<p><b>法人経営力強化支援事業</b> ・ 法人が抱える課題について、各種専門家による指導、法人間の意見交換、先進法人による講習を行なう。 (予算：221 千円)</p>	生産流通課
<p><b>力強い水田農業確立事業</b> 大規模経営体が経営発展を目指し、新たな経営に取り組むための支援。 (7 件、5,233 千円)</p>	<p><b>力強い水田農業確立事業</b> 大規模経営体が経営発展を目指し、新たな経営に取り組むための支援。 (3 件、2,000 千円)</p>	
<p><b>園芸作物導入支援事業【新規】</b> 集落営農法人が園芸品目を導入するための調査研修や試験圃場等への支援。 (1 法人、リーフレタス導入、300 千円)</p>	<p><b>園芸作物導入支援事業</b> 集落営農法人が園芸品目を導入するための調査研修や試験圃場等への支援。 (予算 1,400 千円)</p>	

① 基幹的な担い手の経営力強化

② 農業経営の法人化の推進

1. 法人化等への支援

<p><b>集落営農法人化支援事業</b> 法人設立に要する経費や法人の運営経費等の支援。 ・実績：新規 4 組織 4,000 千円 ・実績：継続 9 組織 4,500 千円</p>	<p><b>集落営農法人化支援事業</b> 法人設立に要する経費や法人の運営経費等の支援。 ・予算：新規 7 組織 7,000 千円 ・予算：継続 11 組織 5,500 千円</p>	<p>生産流通課</p>
<p><b>雇用型農業の推進</b> 農業振興協議会で雇用型農業や法人化を推進するための研修会を開催した。 &lt;久留米市農業振興協議会&gt; 日時：H28.2.22、参加者 19 人 内容：雇用型経営に取り組む際の考え方 講師：生田千年雄氏(社会保険労務士・中小企業診断士)  &lt;小郡三井地区農業振興協議会&gt; 日時：H27.9.30、参加者 41 人 内容：上手な農業経営のヒントと安全・安心への取組 講師：(有)育葉産業 代表取締役 栗田洋蔵氏</p>	<p><b>雇用型農業の推進</b> 農家の規模拡大を支援し、雇用型経営の育成ならびに地域における雇用システムの確立を目指すための研修会を開催。 (予算：40 千円)</p>	<p>農政課</p>

③ 担い手への農地の集積

1. 農地中間管理事業

農地貸借の受皿である農地中間管理機構を活用し、担い手への農地の集積・集約化を推進する。

<p><b>地域集積協力金【新規】</b> 地域の農地面積に占める機構への貸付割合に応じて交付。2～3.6 万円/10a ・8 集落 23,146 a (実績 55,180 千円)</p>	<p><b>地域集積協力金</b> 地域の農地面積に占める機構への貸付割合に応じて交付。1.5～2.0 万円/10 (予算 58,000 千円)</p>	<p>生産流通課</p>
<p><b>経営転換協力金【新規】</b> 経営転換、リタイア、相続人などが機構に農地を貸し付ける場合に交付。貸し付ける面積に応じて 30～70 万円 ・126 人、89.8ha (実績 54,000 千円)</p>	<p><b>経営転換協力金</b> 経営転換、リタイア、相続人などが機構に農地を貸し付ける場合に交付。貸し付ける面積に応じて 30～70 万円交付。 (予算 63,000 千円)</p>	<p>農政課</p>
<p><b>耕作者集積協力金【新規】</b> 農地の集積・集約化に協力する出し手への支援。2 万円/10a ・337 筆、46.1ha (実績 9,218 千円)</p>	<p><b>耕作者集積協力金</b> 農地の集積・集約化に協力する出し手への支援。1 万円以内/10a (予算 63,000 千円(再掲))</p>	
<p><b>農地集積交付金(県単)</b> 機構を通じて 3 年以上の水田の貸借契約をした者。1.5～3 万円/10a ・95 戸 6,899 a (実績 20,067 千円)</p>	<p><b>農地集積交付金(県単)</b> 機構を通じて 3 年以上の水田の貸借契約をした者。1.5～3 万円/10a (予算 16,000 千円)</p>	<p>生産流通課</p>

③ 担い手への農地の集積

2. 認定農業者等の農地集積支援

<p><b>土地利用型認定農業者等経営安定対策事業</b> 生産調整対象水田の利用権を新規設定した認定農業者や農業法人に対する支援 (8千円/10a 利用権設定期間6年以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 309ha、81件</li> <li>・ 補助実績 24,724千円</li> </ul>	<p><b>土地利用型認定農業者等経営安定対策事業</b> 生産調整対象水田の利用権を新規設定した認定農業者や農業法人に対する支援 (8千円/10a 利用権設定期間6年以上) (予算額：29,682千円)</p>	<p>農業委員会事務局</p>
--	--	-----------------

④ 経営に応じた担い手の育成

1. 検証結果を受けた新たな事業の構築【新規】

(平成26年度に実施した「施設・露地野菜の生産振興と担い手育成施策」の検証結果を受け、新たな事業等を検討し、平成28年度の実施計画に反映する。)

<p><b>施設・露地野菜の生産振興と担い手育成施策</b> ・平成26年度に実施した検証結果について、市関係各課を対象に「研究報告会及び意見交換会」を開催(H27.7) ・市検討会議で検証結果の事業化について検討。</p>	<p><b>施設・露地野菜の生産振興と担い手育成施策【検証結果から反映した事業】</b> ①法人の人材確保支援として、県と連携し会社説明会への参加を促進する。 ②法人の従業員の知識力等の向上のため、営農基礎講座への参加を促す。 (事業主体：市担い手協議会)</p>	<p>農政課</p>
<p><b>集落営農法人の経営力向上支援の検証【新規】</b> 集落営農法人の経営を安定させ、土地利用型農業の振興を図っていくための課題や施策の検証。 ・ アンケート調査実施 委託料 1,000千円 (再掲)</p>	<p><b>集落営農法人の経営力向上支援の検証</b> 昨年のアンケートと今年度実施する予定の集落営農法人へのヒアリングの結果を受け、次年度に向けて集落営農法人の経営力向上に向けた新規事業を検討する。 ・ 法人へのヒアリング調査 ・ 次年度の事業等検討 (予算：委託料 1,000千円 (再掲))</p>	<p>生産流通課、農政課</p>



基本施策Ⅱ：【農業】効率的で安定的な農業経営体への育成

個別施策4：次世代の担い手の確保と育成

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
毎年度の新規就農者数	人	12	29 (見込み)	-	-	-	-	20

主な事業	H27 年度実績	H28 年度計画	担当課
------	----------	----------	-----

① 新規就農の促進	1. 情報提供による就農の促進・支援		農政課
	<u>就農相談への対応</u> ・ 就農の手引きの作成(市担い手協) (139千円、1,000部) (事業主体：市担い手育成総合支援協議会)	<u>就農相談への対応</u> ・ 就農相談窓口案内看板の設置 (看板5箇所、予算60千円) (事業主体：市担い手育成総合支援協議会)	
	(対角線)	<u>雇用就農の促進</u> 県就農マッチングセンターを活用し、雇用や研修の受入情報と就農希望者の情報を集約し、マッチングする。	
(対角線)	<u>農業実践研修事業【新規】</u> 本市で就農を目指す意欲ある研修生を募集。受入先の農業法人等に研修費の一部を支援。(1人当50千円/月×最長2年間) (予算：1,800千円)		

② 青年就農者の育成	1. 経営力や技術の向上支援		農政課
	<u>青年就農給付金(経営開始型)による支援</u> 新規就農希望者の個々の状況に応じて就農へ向けたアドバイスや就農計画の作成支援、就農後の指導等を行った。 ・ 給付者56人(うち夫婦5組10人) (うちH27年度開始16人) ・ 実績735,000千円	<u>青年就農給付金(経営開始型)による支援</u> ・ 関係機関と連携し、受給希望者に対する相談支援、および、既受給者に対する指導、助言を行う。 ・ 関係機関と連携し、相談体制のマニュアル化、受給者情報の共有化を図る。 (予算112,125千円)	
	<u>認定新規就農者の認定</u> ・ 25人 (久18、田2、北1、城2、三2)	<u>認定新規就農者の認定</u> ・ 関係機関と連携し、希望者への青年等就農計画の作成支援、認定等を行う。	
	<u>研修会等の開催</u> ・ 先輩農業者や就農者間の座談会 (H27.8.20、21 参加者21人) ・ 市内の先輩農業者等の圃場視察 (安武町露地野菜、北野町施設野菜) (H28.2.3 参加者16人) ・ 基礎講座(農薬や施肥等の基礎知識) (H28.2.19 参加者20人) (事業主体：市担い手育成総合支援協議会)	<u>研修会等の開催</u> ・ 先輩農家等との座談会、農薬や施肥等に関する営農基礎講座を開催し、新規就農者が早期に経営安定するための支援を行う。	
<u>地域連携推進事業</u> 国事業を活用し普及センターOBを雇用、就農状況確認や技術等の指導を行った。	(対角線)		

② 青年就農者の育成

2. 青年就農者の活動支援・意欲向上

<p><b>4Hクラブの活動支援</b> 概ね 30 歳未満の青年農業者で組織する 4HC の活動支援を行った。 ・久留米市 4HC(200 千円) ・田主丸 4HC(300 千円) ・北野 4HC(400 千円)</p>	<p><b>4Hクラブの活動支援</b> 概ね 30 歳未満の青年農業者で組織する 4HC の活動支援を行う。 ・久留米市 4HC(200 千円) ・田主丸 4HC(300 千円) ・北野 4HC(400 千円)</p>	<p>農政課</p>
<p><b>海外研修支援</b> 農業後継者が実施する海外研修に対して助成を行った。 (実績：2 人、100 千円)</p>	<p><b>海外研修支援</b> 農業後継者が実施する海外研修に対して助成を行う。 (予算 100 千円)</p>	
<p></p>	<p><b>次世代のリーダー育成【新規】</b> 「JA くるめ青年部ネットワークアカデミー」コミュニケーション能力、組織育成能力などの 4 回講座と視察研修 (事業主体：久留米市農業振興協議会)</p>	

基本施策Ⅱ：【農業】効率的で安定的な農業経営体への育成

個別施策5：女性農業者の育成と活躍できる環境整備

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
認定農業者における女性農業者の割合	%	4.0	5.7	—	—	—	—	7.0



1. 女性農業者の人材育成

① 農業経営や地域で活躍できる女性農業者の育成	<p><b>女性農業者リーダー養成事業</b>                  (県の経営発展講座に参加6名)                  「経営の中でやりたいことを考える」                  「販売戦略を考える」「専門家との意見交換」                  「ふりかえり」                  (事業主体：市担い手育成総合支援協議会)</p>	<p><b>女性農業者リーダー養成事業</b>                  (県の経営発展講座に参加)                  リーダー的立場の人や今後リーダーとなる事が期待される方を募集し、県の経営発展講座(5回シリーズ)に参加する。                  (事業主体：市担い手育成総合支援協議会)</p>	農政課
	/	<p><b>新規就農女性ネットワーク研修【新規】</b>                  就農5年以内の方を対象に、先輩農業者の講演や交流会を開催し、意欲向上や女性農業者間の関係構築を支援する。                  (普及センターとの連携事業)</p>	
	<p><b>女性農業者活動支援事業</b>                  女性農業者のグループが実施する研修会等の活動に対し補助を行った。                  ・ 城島アグリレディス                  ・ 三潞町ひまわり会                  (補助実績 111 千円)</p>	<p><b>女性農業者活動支援事業</b>                  女性農業者のグループが実施する研修会等の活動に対し補助を行う。                  (予算：500 千円)</p>	
	<p><b>認定農業者への申請の推進</b>                  家族経営協定と認定農業者の共同申請を周知・推進するチラシを作成した。</p>	<p><b>認定農業者への申請の推進</b>                  家族経営協定と認定農業者の共同申請を周知・推進するチラシ等を使って、研修会や認定農業者の相談会等で推進する。</p>	
	/	<p><b>女性農業者の活躍促進事業</b>                  女性農業者が起業を目指し、商品開発等を行う際の支援を行う。(県 1/2、市 1/20)                  ・ 商品開発支援 3 件                  ・ 販路開拓支援 1 件                  (予算 2,482 千円)</p>	



① 農業経営や地域で活躍できる女性農業者の育成

2. 女性農業者が活躍できる環境の整備

<p><b>家族経営協定の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規締結 15 件 計 416 件 (久 147、田 66、北 106、城 58、三 39)</li> </ul>	<p><b>家族経営協定の推進</b></p> <p>認定農業者の相談会や研修会等で家族経営協定制度や事例について紹介するなど、締結や見直しについて推進する。</p>	<p>農政課</p>
<p><b>農業団体への啓発</b></p> <p>農業団体の長に対し、リーフレット等を使って男女共同参画の啓発を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>久留米地域農政連絡協議会</li> <li>農政懇話会</li> </ul>	<p><b>農業団体への啓発</b></p> <p>農業団体の長に対し、リーフレット等を使って男女共同参画の啓発を行う。</p>	
<p><b>女性農業者の実態調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>認定農業者の配偶者など女性農業者 210 人を対象に、女性農業者の経営や地域活動への参画状況などを調査した。(5 年毎に調査)</li> </ul>	<p><b>女性農業者の実態調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H27 年度に実施した実態調査の整理・分析を行う。</li> </ul>	

【基本施策Ⅱ「効率的で安定的な農業経営体への育成」：H28 年度施策の方向性】

研修会の開催や農地集積支援によって、基幹的担い手である認定農業者の経営力向上に取り組むとともに、集落営農組織の法人化の支援、経営多角化を含む法人化後の経営力強化支援に取り組む。また、新たに、「青年農業者のリーダー育成研修」による基幹的農業者への移行を図っていく。

次世代の担い手の育成については、今後も、関係機関と連携し、座談会や各種研修会を実施するとともに、新たに、就農前の技術習得支援や農村地域に早期に馴染むための支援として「農業実践研修」をスタートさせ、次世代の担い手の確保を図る。

女性農業者の育成についても、女性農業者リーダー養成講座の実施や家族経営協定の推進を図るとともに、新たに、就農間もない女性農業者の交流促進を目的とした「新規就農女性ネットワーク研修」を実施するとともに、あらゆる機会を活用して家族経営協定の締結や認定農業者への申請などを推進していく。

基本施策Ⅲ：【農業】競争力のある産地の育成

個別施策6：生産力の強化

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
主な野菜・果樹の収穫量	トン	25,122 (H24年産)	30,096 (H26年産)	—	—	—	—	26,400

主な事業	H27 年度実績	H28 年度計画	担当課
------	----------	----------	-----

1. 機械等の導入・整備支援

① 生産施設や機械等の整備	<p><b>活力ある高収益型園芸産地育成事業</b> 先進技術や省力機械・施設等の整備を進め、収益性が高い園芸産地の育成を図る。 (県費 1/2 又は 1/3、市費 1/20)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実績 31 件、事業費 657,470 千円 県 271,190 千円、市 24,828 千円</li> <li>内容：パイプハウス及び附帯施設、播種・施肥用機械など</li> </ul>	<p><b>活力ある高収益型園芸産地育成事業</b> 先進技術や省力機械・施設等の整備を進め、収益性が高い園芸産地の育成を図る。 (県費 1/2 又は 1/3、市費 1/20)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予算 56 件、事業費 1,554,873 千円、 県 678,118 千円、市 71,961 千円</li> <li>パイプハウス及び附帯施設、播種・施肥用機械など予定</li> </ul>	生産流通課
	<p><b>経営体育成支援事業(融資主体型補助)</b> 機械や施設整備の際の融資残の自己負担分について助成。(国費 3/10)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実績 2 件、事業費 7,660 千円 国補助金 2,295 千円</li> <li>内容：レタス移植機、トラクターなど</li> </ul>	<p><b>経営体育成支援事業(融資主体型補助)</b> 機械や施設整備の際の融資残の自己負担分について助成。(国費 3/10)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予算 2 件、事業費 6,653 千円 国補助金 1,996 千円</li> <li>レタス移植機、育苗ハウスなど</li> </ul>	
	<p style="text-align: center;">/</p>	<p><b>担い手確保・経営強化支援事業【新規】</b> 機械や施設整備の際の融資残の自己負担分について助成。(国費 1/2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実績 2 件、事業費 49,020 千円 国補助金 22,687 千円 (H27 繰越事業)</li> <li>レタス移植機、トラクターなど</li> </ul>	
	<p style="text-align: center;">/</p>	<p><b>強い農業づくり交付金</b> 国産農畜産物の安定供給のため、生産から流通までの共同利用施設の整備等を支援(国費 1/2 等、市費 1/20 等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予算 11 件、事業費 208,537 千円 県 89,112 千円、市 9,650 千円</li> <li>パイプハウス、自動包装機など</li> </ul>	
	<p style="text-align: center;">/</p>	<p><b>産地パワーアップ交付金【新規】</b> 高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組を支援(国費 1/2 等、市費 1/20)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予算 6 件、事業費 178,829 千円 県 81,361 千円、市 8,275 千円</li> <li>パイプハウス及び附帯施設など</li> </ul>	

① 生産施設や機械等の整備

<p><b>水田農業担い手機械導入事業</b>                  大区画ほ場条件に対応する高性能機械の導入支援（県費 1/3、市費 1/6）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実績 13 件、事業費 72,968 千円</li> <li>県 22,516 千円、市 11,265 千円</li> <li>内容：土地利用型農業のトラクター、コンバイン、田植機、乗用管理機等</li> </ul>	<p><b>水田農業担い手機械導入事業</b>                  大区画ほ場条件に対応する高性能機械の導入支援（県費 1/3、市費 1/6）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予算 15 件、事業費 115,079 千円</li> <li>県 35,513 千円、市 17,764 千円</li> <li>内容：土地利用型農業のトラクター、コンバイン、田植機、乗用管理機、無人ヘリコプター等</li> </ul>	<p>生産流通課</p>
<p><b>ふるさと農業活性化対策事業</b>                  集落営農への地域特産物の育成、先導的技術導入に対する支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新技術・新品種開発導入推進事業                      実績 1 件 150 千円                      新品種大麦「はるか二条」の導入</li> <li>新技術導入条件整備事業                      実績 2 件 400 千円                      ほうれん草収穫機の導入、博多和牛の品質向上の資材導入</li> </ul>	<p><b>ふるさと農業活性化対策事業</b>                  集落営農への地域特産物の育成、先導的技術導入に対する支援。                  （予算 2,920 千円）</p>	<p>農政課</p>
<p><b>制度資金の利子補給</b>                  農業経営体育成資金（スーパーL）や農業近代化資金を活用して機械等を導入する場合の利子の助成。</p> <p>&lt;新規貸付&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>L資金実績：41 件、510,620 円</li> <li>近代化実績：6 件、36,190 円</li> </ul>	<p><b>制度資金の利子補給</b>                  農業経営体育成資金（スーパーL）や農業近代化資金を活用して機械等を導入する場合の利子の助成、及び災害普及に対する利子助成を行う。</p>	

① 生産施設や機械等の整備

2. 有害鳥獣対策

朝倉広域鳥獣被害防止計画（H27～H29）に基づき、被害防除、生息環境の管理、団体数調査などの有害鳥獣被害防止対策を総合的かつ計画的に推進する。

<p><b>久留米地区有害鳥獣広域防除対策協議会支援</b> 補助金額 3,650 千円（市） 事業費 4,752 千円</p>	<p><b>久留米地区有害鳥獣広域防除対策協議会支援</b> 補助金額 3,650 千円（市） 事業費 5,458 千円</p>	<p>生産流通課 ↓ みどりの里づくり推進課</p>
<p><b>鳥獣被害防止総合対策整備事業</b> 実績：37 件、事業費 6,692 千円(国庫定額) 主な事業内容： 電気柵 12 名 6,550m ワイヤー柵 24 名 7,670m 防鳥施設 1 名 2,000 m<sup>2</sup></p>	<p><b>鳥獣被害防止総合対策整備事業</b> 予算：42 件、事業費 9,018 千円(国庫定額) 主な事業内容： 電気柵 14 名 9,340m ワイヤー柵 27 名 8,730m 防鳥施設 1 名 3,763 m<sup>2</sup></p>	
<p><b>有害鳥獣被害防止施設整備事業</b> 実績：10 件、事業費 876 千円、 うち市補助金 324 千円 主な事業内容： 防鳥・防獣ネット・電気柵</p>	<p><b>有害鳥獣被害防止施設整備事業</b> 予算：10～15 件、事業費 1,504 千円 うち市補助金 557 千円 主な事業内容： 防鳥ネット・防獣ネット等</p>	

② 生産振興の強化

1. 環境保全型農業の推進

<p><b>土づくり推進対策事業</b> 西部土づくりセンターへの支援により、継続的な資源循環型農業を推進する。 (実績 4,364 千円)</p>	<p><b>土づくり推進対策事業</b> 西部土づくりセンターへの支援により、継続的な資源循環型農業を推進する。 (予算 4,220 千円)</p>	<p>生産流通課</p>
<p><b>土づくり広場農業体験教務委託</b> 市民に土づくり学習の機会や農業体験の場を提供し、環境保全型農業への理解を促進する。 (地力回復用レンゲ草や次年度収穫用ジャガイモ等の作付 委託料 999 千円)</p>	<p><b>土づくり広場農業体験教務委託</b> 市民に土づくり学習の機会や農業体験の場を提供し、環境保全型農業への理解を促進する。 (土づくりセンター見学、ジャガイモ収穫体験 委託料 1,000 千円)</p>	
<p><b>環境保全型農業直接支払交付金</b> 環境保全に効果の高い営農活動に対して支援を行う。(カバークロープ、堆肥の施用、有機農業) 実績：18 件 14,503 千円 (国 1/2、県・市 1/4)</p>	<p><b>環境保全型農業直接支払交付金</b> 環境保全に効果の高い営農活動に対して支援を行う。(カバークロープ、堆肥の施用、有機農業)</p>	

2. 普通作の振興

<p><b>経営所得安定対策等推進事業</b> 米の生産調整及び経営所得安定対策を実施する久留米市水田農業推進協議会へ必要となる事務費を支援。 (実績 32,139 千円)</p>	<p><b>経営所得安定対策等推進事業</b> 米の生産調整及び経営所得安定対策を実施する久留米市水田農業推進協議会へ必要となる事務費を支援。 (予算 35,120 千円)</p>	<p>生産流通課</p>
--	--	--------------

3. 園芸農業の振興

<p><b>野菜価格安定対策事業</b> 野菜の市場販売価格が一定価格を下回った際に、生産者に価格差補給を行なうための資金の造成を行い、野菜生産農家の経営安定と安定供給を図る。 (交付金額 749 千円、市造成額 0 円)</p>	<p><b>野菜価格安定対策事業</b> 野菜の市場販売価格が一定価格を下回った際に、生産者に価格差補給を行なうための資金の造成を行い、野菜生産農家の経営安定と安定供給を図る。 (市造成額 7,876 千円)</p>	<p>生産流通課</p>
<p><b>秋王の改植支援</b> 種なし甘柿「秋王」の普及促進のため、部会に対し改植支援を行う。 ・対象：JA くるめ、JA にじの柿部会 (実績 苗 541 本、補助金 195 千円)</p>	<p><b>秋王の改植支援</b> 種なし甘柿「秋王」の普及促進のため、部会に対し改植支援を行う。 ・対象：JA くるめ、JA にじの柿部会 (予算 苗 2,050 本、補助金 750 千円)</p>	
<p><b>地域特産物普及推進対策事業</b> 緑花木や果樹の普及宣伝、消費拡大を促進する。 (8 団体、4,007 千円) ・久留米つつじまつり ・久留米菊花振興会 ・菊花振興会 ・グリーンフェスティバル ・みづま黒松春まつり ・巨峰会 ・柿部会</p>	<p><b>地域特産物普及推進対策事業</b> 緑花木や果樹の普及宣伝、消費拡大を促進する。 (8 団体、予算：4,562 千円) ・久留米つつじまつり ・久留米菊花振興会 ・菊花振興会 ・グリーンフェスティバル ・みづま黒松春まつり ・巨峰会 ・柿部会</p>	<p>みどりの里づくり推進課、生産流通課</p>
<p><b>植木・花卉振興対策事業</b> 生産団体が実施する栽培技術向上研修会等へ支援を行った。 (6 団体、4,689 千円) ・福岡県苗木農協 ・くるめ緑花センター協同組合 ・久留米市植木農協 ・久留米花卉園芸農協 ・久留米市花き生産組合 ・久留米地域植木・花卉市場連絡協議会</p>	<p><b>植木・花卉振興対策事業</b> 生産団体が実施する栽培技術向上研修会等へ支援を行う。 (7 団体、予算：4,824 千円) ・福岡県苗木農協 ・三潴植木組合 ・くるめ緑花センター協同組合 ・久留米市植木農協 ・久留米花卉園芸農協 ・久留米市花き生産組合 ・久留米地域植木・花卉市場連絡協議会</p>	<p>生産流通課 ↓ みどりの里づくり推進課</p>



4. 畜産の振興

<p><b>優良乳用基礎雌牛導入事業</b> 酪農経営における乳質、乳量の向上を図るため、優良雌牛の導入促進と酪農の生産振興を図る。 (優良雌牛 30 頭、事業費 20,023 千円、市補助 2,437 千円)</p>	<p><b>優良乳用基礎雌牛導入事業</b> 酪農経営における乳質、乳量の向上を図るため、優良雌牛及び受精卵の導入促進と酪農の生産振興を図る。 (予算 市補助 3,437 千円)</p>	<p>生産流通課</p>
<p><b>乳用牛改良促進事業</b> 共進会の開催や出品を通じて、畜産技術の向上や後継者の育成を図るとともに、市民への畜産の理解促進や消費拡大を目指す。 (実績 2 件、事業費 3,550 千円、市補助 751 千円)</p>	<p><b>乳用牛改良促進事業</b> 共進会の開催や出品を通じて、畜産技術の向上や後継者の育成を図るとともに、市民への畜産の理解促進や消費拡大を目指す。 (予算 市補助 951 千円)</p>	
<p><b>酪農経営活性化推進事業</b> 生産性の高い酪農経営を図るため、高度な経営や技術の指導、研修会等を実施し、酪農経営の合理化、安定化を図る。 (実績 1 件、事業費 1,769 千円、市補助 813 千円)</p>	<p><b>酪農経営活性化推進事業</b> 生産性の高い酪農経営を図るため、高度な経営や技術の指導、研修会等を実施し、酪農経営の合理化、安定化を図る。 (予算 市補助 813 千円)</p>	
<p><b>酪農ヘルパー利用組合強化対策事業</b> 酪農経営における定期的な休日確保ができる体制の整備を促進するため、ヘルパー組合に対して支援する。 (実績 2 件、事業費 34,612 千円、市補助 2,924 千円)</p>	<p><b>酪農ヘルパー利用組合強化対策事業</b> 酪農経営における定期的な休日確保ができる体制の整備を促進するため、ヘルパー組合に対して支援する。 (予算 市補助 2,924 千円)</p>	
<p><b>ふくおかの畜産競争力強化対策事業</b> 畜産農家の飼養規模拡大や畜産物の生産量増加を図るため、畜舎や飼養管理機械等の整備に対して支援を行う。 (実績 13 件、事業費 85,114 千円、県補助 30,166 千円、市補助 3,191 千円)</p>	<p><b>ふくおかの畜産競争力強化対策事業</b> 畜産農家の飼養規模拡大や畜産物の生産量増加を図るため、畜舎や飼養管理機械等の整備に対して支援を行う。 (予算 23 件、事業費 180,707 千円、県補助 60,232 千円、市補助 9,030 千円)</p>	
<p><b>九州一へ「はかた地どり」倍増事業</b> 「はかた地どり」の生産羽数を倍増し、ブランド力を強化するため、飼養施設の改造等に対して支援する。 (実績 1 件、事業費 85,114 千円、県補助 4,112 千円、市補助 411 千円)</p>	<p>H27 事業廃止</p>	
<p><b>畜産経営環境整備施設改善事業</b> 畜産農家が行なう畜産施設の家畜糞尿処理改善に対して支援を行なう。 (実績なし)</p>	<p><b>畜産経営環境整備施設改善事業</b> 畜産農家が行なう畜産施設の家畜糞尿処理改善に対して支援を行なう。 (予算 3,000 千円)</p>	

5. その他

<p><b>雇用型農業の推進</b>                  雇用主の労力軽減・規模拡大・所得増大を目的に、オクラファーム事業の販売単価の確保、調整コストの精査やいちごファーム事業稼動に向けた検討会、雇用者募集、パック詰め技術研修を行い、試験稼動を行った。                  (事業主体：久留米市農業振興協議会雇用型経営推進PJ、JAくるめ)</p>	<p><b>雇用型農業の推進</b>                  &lt;雇用斡旋組織との連携&gt;                  シルバー人材センター、就労継続支援事業所等と連携し、農業者、JA パッケージ事業の雇用確保のためのシステムを構築する。</p>	農政課 ・ 生産流通課
<p><b>試験研究機関等との連携</b>                  農業者等へ市内の試験研究機関が研究した新品種や新技術の情報発信を行った。                  &lt;研究成果発表会&gt;                  ・ 県農総試資源活用センター：「鮮度保持研究の取組」                  ・ 農研センター：「イチゴの新品種・人工光型植物工場でのスプラウト生産」                  ・ 生食研：「ふくおか食品開発支援センターの紹介と活用事例」                  ・ 普及センター：「地域で実践できるコスト低減技術 350 の提案」、「達人に学ぶ経営改善につながる 100 の提案」                  (H28.1.22 開催、参加者 50 人)</p>	<p><b>試験研究機関等との連携</b>                  &lt;連携会議の開催&gt;                  日程：今後調整                  内容：各機関の取組状況等の情報交換・意見交換等</p>	農政課
<p><b>各地域の生産振興の取組</b>                  各地域の特色ある生産振興を図るため、各地域の協議会が主体となって新規作物の導入や新技術の導入などの実証実験を行う。(実績 1,244 千円)                  ・ 久留米市農業振興協議会                  ・ にじ農協管内農業振興協議会                  ・ 小郡三井地区農業振興協議会                  ・ 大川・城島・大城地区営農推進協議会</p>	<p><b>各地域の生産振興の取組</b>                  各地域の特色ある生産振興を図るため、各地域の協議会が主体となって新規作物の導入や新技術の導入などの実証実験を行う。                  (予算 1,244 千円)</p>	農政課

基本施策Ⅲ：【農業】競争力のある産地の育成

個別施策7：販売力の強化

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
久留米ブランド農産物の認知度	%	—	51	—	—	—	—	60

主な事業	H27 年度実績	H28 年度計画	担当課
------	----------	----------	-----

① 流通環境の整備	1. 流通環境の整備		
	<p><b>強い農業づくり交付金</b> 地域における生産から流通・消費までの対策を総合的に推進する。 ※27年度は実績無し</p>	<p><b>強い農業づくり交付金</b> 地域における生産から流通・消費までの対策を総合的に推進する。 ・食鳥処理施設整備支援 (予算 69,262 千円)</p>	生産流通課
<p><b>中央卸売市場の施設整備</b> ・青果部、水産物部冷却機改修工事 47,666 千円 ・水産物部管理棟耐震改修設計 904 千円 ・高圧受変電設備改修工事 8,619 千円 ・関連事業所棟改修工事 10,095 千円 ・第10次市場整備計画の策定 (H28年度～H32年度に行う整備計画)</p>	<p><b>中央卸売市場の施設整備</b> ・水産物部 SF 級冷蔵庫新設工事 (予算 20,690 千円) ・水産物部管理棟耐震補強工事 (予算 23,535 千円) ・関連事業所棟耐震診断 (予算 4,059 千円)</p>	中央卸売市場	

② ブランド化の推進	1. ブランド化の推進		
	<p><b>「キラリ久留米」ロゴマークを活用した久留米産農産物の認知度向上</b> ・ロゴマークの導入支援 (4 団体、1,450 千円)</p>	<p><b>「キラリ久留米」ロゴマークを活用した久留米産農産物の認知度向上</b> ・ロゴマークの導入支援 (予算 6 団体、1,700 千円)</p>	農政課
<p><b>久留米産農産物の PR</b> (事業主体：販売力強化推進協議会) ＜消費者対象＞ ・若鷹応援スペシャルデー in 久留米 (H27.5.23) ・くるっぱマルシェ in 久留米駅 (H28.3.12) ・キラリ久留米農産物マルシェ (H28.3.20) ＜バイヤー対象＞ ・フードエキスポ九州 (H27.10.6-8) ・アグリフード EXPO 大阪 (H28.2.18-19)</p>	<p><b>久留米産農産物の PR</b> (事業主体：販売力強化推進協議会) ＜消費者対象＞ ・キラリ久留米農産物マルシェ (シティプラザ等) ・シティプロモーション連動イベント ＜バイヤー対象＞ ・フードエキスポ九州 (H28.10.4-6) ・アグリフード EXPO 大阪 (H29.2)</p>		



② ブランド化の推進

<p><b>特定品目によるブランド農産物の育成</b>                  &lt;トップセールス&gt;                  日 時：H27.12.22（火）                  場 所：大阪市中央卸売市場                  内 容：リーフレタスのトップセールス                  及び試食宣伝会                  参加者：久留米市長、JA くるめ代表理事                  組合長、JA くるめ園芸作物部会                  長研究会長連絡協議会副会長</p>	<p><b>特定品目によるブランド農産物の育成</b>                  &lt;トップセールス&gt;                  これまでの大阪市場でのリーフレタスの                  取組に加えて、新たな品目等のトップセ                  ールスを検討・実施する。</p>	<p>農政課</p>
<p><b>九州大学との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>久留米産農産物の広域流通における                      ブランド化を視点とし、卸売市場等を                      対象とした調査を行った。</li> <li>H26 年度の調査結果・提言を受けて、                      次年度事業の展開につなげた。                      （委託料 1,000 千円 再掲）</li> </ul>	<p><b>九州大学との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H27 年度の調査を受けた分析・検証                      （9 月予定）</li> <li>調査結果・提言を受けて、次年度事業                      へ反映させる。                      （委託料 1,000 千円 再掲）</li> </ul>	

1. 異業種間の情報・意見交換による事業促進

<p><b>6次産業化交流会【広域】</b>                  参集範囲を広域に（4市2町）に拡大して実施した。                  日時：H27.6.30（火）13:30～17:00                  場所：久留米商工会議所5階 大ホール                  内容：                  ①基調講演                  （フードコーディネーター：久保ゆりか氏）                  ②パネルディスカッション                  （パネラー3名：萩原オリーブ、(株)樹蘭、(株)農業都市デザインシステム研究所）                  （モデレータ：6次産業化プランナー田中美智子氏）                  ③補助金概要説明、ふくおか食品開発支援センター紹介                  ④意見交換等                  ※参加者：128名（内農業者：47名）</p>	<p><b>6次産業化交流会【広域】</b>                  久留米広域連携中枢都市圏（4市2町）の取組として実施した。                  日時：H28.5.27（金）13:30～17:00                  場所：久留米シティプラザ5階大会議室                  内容：                  ①基調講演                  （6次産業化プランナー：木村俊朗氏）                  ②パネルディスカッション                  （パネラー4名：萩原オリーブ、鹿毛ファーム、農事組合法人山辺の里、エンザイ緑販有限会社）                  （モデレータ：6次産業化プランナー田中美智子氏）                  ③補助金概要説明、ふくおか食品開発支援センター等紹介                  ④意見交換等                  ※参加者：116名（内農業者：26名）</p>	<p>農政課</p>
<p><b>農商工連携見本市【広域】</b>                  （事業主体：久留米市農商工連携会議）                  出展・参集範囲を広域（4市2町）に拡大して開催した。                  日時：H28.1.22（金）10:00～16:00                  （新食品表示基準セミナー、地理的表示研修会、新技術・新品種研究発表会も同時開催）                  場所：久留米ビジネスプラザアルカディアホール                  参加人数：出展者38団体、来場者170名</p>	<p><b>農商工連携見本市【広域】</b>                  （事業主体：久留米市農商工連携会議）                  久留米広域連携中枢都市圏（4市2町）の取組として開催。                  日時：調整中                  場所：久留米シティプラザ（予定）                  ※個別商談会などマッチングの機会をより多く設定する。また、農商工連携セミナー等も同時開催する。</p>	

2. 商品開発や販路開拓の資金面からの支援

③ 6次産業化の推進

<p><b>6次産業化推進事業費補助金</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商品開発支援 (287,095 円) (萩原オリーブ、鹿毛ファーム、農事組合法人山辺の里)</li> <li>販路拡大支援 (622,240 円) (エンザイ緑販(有)、JA みづま、農事組合法人山辺の里)</li> </ul>	<p><b>6次産業化推進事業費補助金</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商品開発支援 (5 件程度、上限 30 万円)</li> <li>販路拡大支援 (3 件程度、上限 50 万円)</li> </ul> <p>※採択状況により、第 2 次公募を予定。</p>	<p>農政課</p>
<p><b>農商工連携会議プロジェクト</b> (事業主体：久留米市農商工連携会議) 農業者と商工業者が連携して取り組む商品化や事業化に対して支援を行う。</p> <p>① バニラビーンズプロジェクト 「国産バニラビーンズ」の商品化・ブランド化に向けて取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>試験圃場における栽培技術の確立</li> <li>市内企業における商品開発</li> </ul> <p>②久留米産肉用牛販路拡大プロジェクト 久留米産「博多和牛」の更なるブランド化を図るため、加工品などの商品開発や販路拡大に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食品見本市等への出展</li> <li>企業との連携による販路拡大、サンプル作成</li> </ul> <p>③ハト麦活用推進プロジェクト 九州大学との共同研究を行った結果を踏まえ、新たな分野での商品開発やブランド構築を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商談会等への出展、試作品作成</li> <li>ハト麦の効果効能について検証、「ハトムギの抽出物の生産方法」に関して特許出願</li> </ul> <p>(実績 1,450 千円)</p>	<p><b>農商工連携会議プロジェクト</b> (事業主体：久留米市農商工連携会議) 農業者と商工業者が連携して取り組む商品化や事業化に対して支援を行う。</p> <p>①バニラビーンズプロジェクト 「国産バニラビーンズ」の商品化・ブランド化に向けて取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>試験圃場における栽培技術の確立</li> <li>市内企業における商品開発</li> </ul> <p>②久留米産肉用牛販路拡大プロジェクト 久留米産「博多和牛」の更なるブランド化を図るため、加工品などの商品開発や販路拡大に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食品見本市等への出展</li> <li>企業との連携による販路拡大、</li> <li>新たな商品開発の検討</li> </ul> <p>③ハト麦活用推進プロジェクト 九州大学との共同研究を行った結果を踏まえ、新たな分野での商品開発やブランド構築を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商談会等への出展</li> <li>ホームページ、パンフレット等の作成</li> </ul> <p>(予算 1,450 千円)</p>	

1. 輸出に取り組む農業者への支援

**輸出に取り組む農業者の人材育成・支援事業**  
輸出に取り組む意欲ある人材を育成するため、九州大学と連携して研修や香港での試験販売等を実施した。

講座	日程	テーマ
第1回	H27.9.17(木)	農産物輸出の基礎
第2回	H27.11.26(木)	商社との折衝
第3回	H28.1.26(火) ～29日(金)	現地実習(香港)
第4回	H28.3.24(木)	発表、意見交換

参加者：認定農業者、農業団体職員等  
12名(現地実習参加4名)

**輸出に取り組む農業者の人材育成・支援事業**  
輸出に取り組む意欲ある人材を育成するため、九州大学と連携して研修や香港での試験販売等を実施。

講座	日程	テーマ
第1回	9月	農産物輸出の基礎
第2回	10月	商社との折衝
第3回	1月	現地実習(香港)
第4回	3月	発表、意見交換

参加者：市内認定農業者、農業団体職員等  
10名程度

農政課

④ 海外への販路拡大支援

**海外販路開拓チャレンジ**

①海外での売り場確保による販路開拓(テストマーケティング)【新規】  
輸出研修の実績を踏まえ、海外(におけるテストマーケティングの場を設け、将来的な販路開拓・輸出実現に向けた足がかりとする。

時期：H28.12～H29.2 3ヶ月程度

実施地域：香港

対象者：H26年度以降の「輸出に取り組む農業者支援研修」を受講した生産者、JA

販売品目：実施時期に出荷できる農産物、農産加工品

(予算 1,089 千円)

②展示商談会の出展による海外バイヤー等とのマッチング

目的：輸出研修(継続研修)の一環として、研修参加者やJAを対象に「フードエキスポ九州 2016」への出展を支援し、海外バイヤー等との商談の機会を設ける。

時期：H28.10.4(火)～6(木)

会場：福岡国際センター

④ 海外への販路拡大支援	<p><b>農産物の輸出支援事業補助金【新規】</b>                  農業団体等が輸出に取り組む際の支援                  (1/2 補助、上限 50 万円/団体)                  ※利用実績なし</p>	<p><b>農産物の輸出支援事業補助金</b>                  農業団体等が輸出に取り組む際の支援                  (1/2 補助、上限 50 万円/団体)                  (予算 1,000 千円)</p>	農政課	
	<p><b>東アジア地域での販路確保及び PR</b>                  (事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会)                  福岡県が実施する福岡県フェアと連携し、販売活動や現地消費者の購買動向の調査、現地商社との意見交換を行った。                  日程：H28.1.20(水)～26 日(火)                  ※渡航は 20 日(水)～23 日(土)                  会場：日系量販店 3 店舗の青果物売り場                  内容：量販店の店頭での PR と販売促進                  ①久留米産富有柿                  ※香港への久留米産柿出荷量                  総重量 900kg 金額 450 千円</p>	<p><b>東アジア地域での販路確保及び PR</b>                  (事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会)                  福岡県が実施する福岡県フェアと連携し、販売活動や現地消費者の購買動向の調査、現地商社等との意見交換を行う。                  時 期：県と調整                  実施地域：タイ (県と調整)                  日 程：3 泊 4 日程度                  会 場：現地量販店等                  参 加 者：JA、農業者、市職員</p>		田主丸産業振興課
	<p><b>緑化木輸出に向けた取組</b>                  (事業主体：久留米市緑化木等販路拡大協議会)                  県等と連携し、隔離栽培や線虫防除対策の実証を行い、2 年後の輸出に向けた技術的なマニュアル作り等を行った。                  ・ 線虫対策及び輸送技術に伴う試験の実施                  (市補助実績 200 千円)</p>	<p><b>緑化木輸出に向けた取組</b>                  (事業主体：久留米市緑化木等販路拡大協議会)                  輸出に向けて信頼できる商社(バイヤー)と輸出樹種の選定に取り組む。                  (予算 200 千円)</p>		

**【基本施策Ⅲ「競争力のある産地の育成」：H28 年度施策の方向性】**

＜生産力の強化＞

国県事業を積極的に活用し、農業機械の導入や施設整備への支援を行うとともに、農業団体等が取り組む生産振興への支援や有害鳥獣対策などに取り組む。特に、国庫事業の「産地パワーアップ事業」や「担い手確保・経営強化支援事業」を活用して、早期に機械や施設の導入ができるよう支援を行う。

＜販売力の強化＞

ブランド化については、農業団体等と協力し、久留米産農産物の情報発信や認知度向上、リーフレタスのブランド化に取り組んできた。今後も、JA・生産者等産地のニーズを踏まえながら、全国的にも有数の産地である強みなどに着目して、ブランド農産物の育成に取り組んでいく。

さらに、H26 年度より取り組んでいる九州大学の調査結果・提言を受け、久留米版のブランド化事業の方向性や新たな取組を検討する。

6 次産業化については、H27 年度までに 26 件の市補助支援を行ってきたが、商品の情報発信力や販路拡大力を強化するため、久留米広域連携中枢都市圏(4 市 2 町)の取組として「農商工連携見本市」を実施していく。また、事業者のニーズに応え、6 次産業化交流会の中で個別相談会を実施するなど充実を図っていく。

海外への販路開拓支援については、九州大学と連携し、香港での現地実習を含めた研修会を開催することで、農業者の輸出意欲を喚起し、海外バイヤー等との商談・取引が行われる事例も出てきている。これまでの取組を活かして、民間ベースでの輸出の取組が実現・定着するように支援を行う。

基本施策Ⅳ：【農業】持続可能な農業生産基盤の確立

個別施策 8：農業生産基盤の整備

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
農業生産基盤整備の面積	ha	5,183.9	5,183.9	—	—	—	—	5,211

① 農業生産基盤の整備・改修	主な事業	H27 年度実績	H28 年度計画	担当課
----------------	------	----------	----------	-----

1. 計画的な整備・改修

<p><b>経営体育成基盤整備事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住吉地区の区画整理、暗渠排水、農道、用排水路の整備を実施した。</li> <li>他の事業推進地区の実施に向けた権利関係者の意向聴取に取り組んだ。 (住吉地区経営体育成基盤整備事業費負担金：14,201千円)</li> </ul> <p><b>農地耕作条件改善事業</b></p> <p>国事業を活用して土地改良区が主体となって取り組む暗渠排水施設の再整備等支援を実施した。 (農地集積・集約化対策整備補助金：1改良区への補助金：27,450千円)</p> <p><b>農村総合整備事業・クリーク防災機能保全対策事業</b></p> <p>農業生産性の向上と、災害の未然防止などに資する整備に取り組んだ。 (県営農村振興総合整備事業負担金：73,743千円) (県営ため池等整備事業費負担金：13,550千円) (県営クリーク防災機能保全事業費負担金：2,929千円)</p> <p>&lt;工種別事業費&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>箇所数</th> <th>整備延長 (m)</th> <th>事業費 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農道</td> <td>3</td> <td>1,165</td> <td>69,468</td> </tr> <tr> <td>用排水路</td> <td>7</td> <td>3,280</td> <td>215,502</td> </tr> <tr> <td>防火水槽</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>クリーク</td> <td>7</td> <td>1,841</td> <td>386,690</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>農業用施設維持管理事業他</b></p> <p>農業振興を図る地域において、道路・水路網を整備することで、高生産性農業の促進および、農業の近代化と農村環境の改善を図った。 &lt;工種別工事費&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>箇所数</th> <th>整備延長 (m)</th> <th>事業費 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農道</td> <td>10</td> <td>3,015</td> <td>49,545</td> </tr> <tr> <td>用排水路</td> <td>6</td> <td>662</td> <td>31,508</td> </tr> <tr> <td>ため池</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>8,097</td> </tr> </tbody> </table>	工種	箇所数	整備延長 (m)	事業費 (千円)	農道	3	1,165	69,468	用排水路	7	3,280	215,502	防火水槽	1	—	10,000	クリーク	7	1,841	386,690	工種	箇所数	整備延長 (m)	事業費 (千円)	農道	10	3,015	49,545	用排水路	6	662	31,508	ため池	1	—	8,097	<p><b>経営体育成基盤整備事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住吉地区の暗渠排水、農道、用排水路の整備を実施する。</li> <li>他の事業推進地区の実施に向けた権利関係者の意向聴取に取り組む。 (住吉地区経営体育成基盤整備事業費負担金：6,500千円)</li> </ul> <p><b>農地耕作条件改善事業</b></p> <p>国事業を活用して土地改良区等が事業主体となって取り組む暗渠排水施設の再整備等を支援する。 (農地集積・集約化対策整備補助金：2改良区への補助金：89,420千円)</p> <p><b>農村総合整備事業・クリーク防災機能保全対策事業</b></p> <p>農業生産性の向上や災害の未然防止などの安全性向上に取り組む。 (県営農村振興総合整備事業負担金：157,398千円) (県営ため池等整備事業費負担金：11,750千円) (県営クリーク防災機能保全事業費負担金：778千円)</p> <p>&lt;工種別事業費&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>箇所数</th> <th>整備延長 (m)</th> <th>事業費 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農道</td> <td>8</td> <td>3,145</td> <td>264,100</td> </tr> <tr> <td>用排水路</td> <td>7</td> <td>2,015</td> <td>346,292</td> </tr> <tr> <td>防火水槽</td> <td>4</td> <td>—</td> <td>19,200</td> </tr> <tr> <td>クリーク</td> <td>5</td> <td>1,623</td> <td>163,000</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>農業用施設整備事業他</b></p> <p>農業振興を図る地域において、道路・水路網を整備することで、高生産性農業の促進および、農業の近代化と農村環境の改善を図る取組を行う。 &lt;工種別工事費&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>箇所数</th> <th>整備延長 (m)</th> <th>事業費 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農道</td> <td>24</td> <td>5,300</td> <td>100,590</td> </tr> <tr> <td>用排水路</td> <td>14</td> <td>1,385</td> <td>62,500</td> </tr> <tr> <td>ため池</td> <td>2</td> <td>—</td> <td>12,400</td> </tr> </tbody> </table>	工種	箇所数	整備延長 (m)	事業費 (千円)	農道	8	3,145	264,100	用排水路	7	2,015	346,292	防火水槽	4	—	19,200	クリーク	5	1,623	163,000	工種	箇所数	整備延長 (m)	事業費 (千円)	農道	24	5,300	100,590	用排水路	14	1,385	62,500	ため池	2	—	12,400	<p>農村整備課</p>
工種	箇所数	整備延長 (m)	事業費 (千円)																																																																							
農道	3	1,165	69,468																																																																							
用排水路	7	3,280	215,502																																																																							
防火水槽	1	—	10,000																																																																							
クリーク	7	1,841	386,690																																																																							
工種	箇所数	整備延長 (m)	事業費 (千円)																																																																							
農道	10	3,015	49,545																																																																							
用排水路	6	662	31,508																																																																							
ため池	1	—	8,097																																																																							
工種	箇所数	整備延長 (m)	事業費 (千円)																																																																							
農道	8	3,145	264,100																																																																							
用排水路	7	2,015	346,292																																																																							
防火水槽	4	—	19,200																																																																							
クリーク	5	1,623	163,000																																																																							
工種	箇所数	整備延長 (m)	事業費 (千円)																																																																							
農道	24	5,300	100,590																																																																							
用排水路	14	1,385	62,500																																																																							
ため池	2	—	12,400																																																																							



主な事業

H27 年度実績

H28 年度計画

担当課

② 農業用施設の長寿命化の推進

1. 計画的な整備・改修

<u>農業水利施設保全対策事業（旧：基幹水利施設ストックマネジメント事業）</u>	<u>農業水利施設保全対策事業（旧：基幹水利施設ストックマネジメント事業）</u>	農村整備課
<p>国・県営土地改良事業により造成された農業用水利施設について、施設の長寿命化の観点によりの確な予防保全を施す。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・7地区の施設（揚水機場・ゲート・排水機場）の予防保全対策工事</li><li>・事業費：331,062千円</li><li>・地元負担金：82,714千円</li></ul>	<p>国・県営土地改良事業により造成された農業用水利施設について、施設の長寿命化の観点によりの確な予防保全を施す。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・6地区の施設（揚水機場・ゲート・排水機場）の予防保全対策工事</li><li>・事業費：197,135千円</li><li>・地元負担金：49,266千円</li></ul>	

基本施策Ⅳ：【農業】持続可能な農業生産基盤の確立

個別施策 9：優良農地の確保

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
耕作放棄地の面積	ha	93 (H26)	98.2	—	—	—	—	88.2

主な事業	H27 年度実績	H28 年度計画	担当課
------	----------	----------	-----

① 優良農地の確保	1. 農業振興地域整備計画事業		
	<p><u>計画の全体見直し</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旧市町別の5つの整備計画の見直しを行うとともに1本化を図った。(H28.3)</li> <li>整備計画の運用などをまとめたガイドラインを策定した。(H28.3)</li> </ul>		農政課
	<p><u>農用地利用計画の一部変更</u></p> <p>農振法の規定に基づき適切に整備計画の管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>除外 18 件、12,819 m<sup>2</sup></li> </ul>	<p><u>農用地利用計画の一部変更</u></p> <p>農振法の規定や市ガイドラインに基づき適切に整備計画の管理を行う。</p>	
	2. 農地法の運用		
<p>農地法に基づき農業委員会総会等で十分な審査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農地法 4 条許可 40 件 4.2ha</li> <li>農地法 5 条許可 183 件 14.1ha</li> <li>内、第 1 種農地 67 件 4.3ha</li> </ul>	<p>農地の転用など、農地法に基づき農業委員総会等で十分な審査を行うとともに、転用地について農業上の利用に支障が少ない農地に誘導するなど、農地と農地以外の土地利用との調整を図る。</p>	農業委員会事務局	

② 耕作放棄地の発生抑制と解消	1. 関係団体と連携した取組		
	<p><u>耕作放棄地の実態把握・解消指導</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」を農業委員会を中心とした「農地パトロール」と一体的に実施し、耕作放棄地の実態把握に取り組んだ。</li> <li>耕作できない所有者については、担い手への農地貸付をあっせんするなど、営農再開に向けて取り組んだ。</li> </ul> <p>H27.8～H28.3 利用状況調査（農地パトロール）</p> <p>H28.1 調査結果集約</p> <p>H28.2 利用意向調査</p>	<p><u>耕作放棄地の実態調査・利用意向調査</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業委員会の実施する「利用状況調査」に併せて「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」を実施し、耕作放棄地の実態把握を行う。</li> <li>農業委員による農地パトロールを、年間を通じて行い耕作放棄地の発生を未然に防止する。</li> <li>耕作放棄地の所有者へ「利用意向調査」を行い意向に沿った対応を行う。また、耕作できない農地については、担い手への農地貸付をあっせんするなど、営農再開に向けて取り組む。</li> </ul> <p>H28.7～H29.8 農地パトロール 通年 利用状況調査</p> <p>H28.9 調査結果集約</p> <p>H28.10～H28.11 利用意向調査</p>	農政課 ・農業委員会事務局



② 耕作放棄地の発生抑制と解消

2. 耕作放棄地対策協議会の取組

<p><b>国・市事業による再生利用支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国の「耕作放棄地再生利用緊急対策交付金」を活用し、農業者による耕作放棄地の再生利用の取組を促進した。</li> </ul> <p>国事業実績：104a、5,103 千円 市事業実績：11a、271 千円</p>	<p><b>国・市事業による再生利用支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国の「耕作放棄地再生利用緊急対策交付金」を活用し、農業者による耕作放棄地の再生利用の取組を促進する。</li> </ul>	<p>農政課</p>
---	---	------------

【基本施策Ⅳ「持続可能な農業生産基盤の確立」H28 年度施策の方向性】

生産効率の高い農業構造の実現を図るため、ほ場の区画整理、大区画化・農道や用排水路の整備を行ってきた。農業に対する先行きの不安感や事業費の地元負担などから、ほ場整備事業に対する関心は低い状況にあるが関係者の理解促進を図りながら事業を推進していく。

土地改良事業実施済区域においては、農地耕作条件改善事業による暗渠排水施設の再整備を進め、引き続き、水田の汎用化、農業生産性の向上を図っていく。

農業水利施設保全対策については、県と連携しながら施設の長寿命化等の適切な予防保全を図っていく。

優良農地の確保については、市による「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」や、農業委員会による「農地パトロール（利用状況調査）」により農地の状況を把握し、耕作放棄地の発生防止や解消に取り組むとともに、農地法や農振法に基づき農地と農地以外の土地利用の調整を図っていく。

基本施策V：【農村】多面的機能の発揮と農村地域の活性化

個別施策10：多面的機能の発揮と農村の環境整備

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
多面的機能の維持に取り組む地域活動面積の割合	%	56	58	—	—	—	—	75

主な事業	H27 年度実績	H28 年度計画	担当課
	1. 多面的機能の維持発揮への支援		

① 多面的機能の発揮	<p><b>多面的機能支払交付金事業</b> 多面的機能の維持・発揮を図るための地域の協働活動への支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H27年度交付組織数：91組織＋新規4組織＝95組織</li> <li>事業費：317,314千円（内、市負担分79,329千円）</li> <li>※負担割合：国 1/2 県 1/4 市 1/4</li> </ul>	<p><b>多面的機能支払交付金事業</b> 多面的機能の維持・発揮を図るための地域の協働活動への支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H28年度交付組織数：95組織＋新規5組織＝100組織</li> <li>事業費：344,501千円（内、市負担分86,125千円）</li> <li>※負担割合：国 1/2 県 1/4 市 1/4</li> </ul>	農村整備課
	<p><b>中山間地域等直接支払交付金事業</b> H27年度は、新たに5ヵ年協定を締結し、地域の農業生産活動の継続に対して支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集落協定：6集落 森部、石垣、大井、二田、益永、麦生</li> <li>参加農家：334戸</li> <li>対象農用地：134ha</li> <li>事業費：交付金10,699千円（内、市負担分2,675千円） 推進交付金：487千円（内、市負担分77千円）</li> <li>※負担割合：国 1/2 県 1/4 市 1/4</li> </ul>	<p><b>中山間地域等直接支払交付金事業</b> 田主丸町の生産条件が不利な中山間地域の生産コストを支援し、農業生産の維持や多面的機能の確保を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集落協定：6集落 森部、石垣、大井、二田、益永、麦生</li> <li>参加農家：334戸</li> <li>対象農用地：134ha</li> <li>事業費：交付金10,699千円（内、市負担分2,675千円） 推進交付金：502千円（内、市負担分92千円）</li> <li>※負担割合：国 1/2 県 1/4 市 1/4</li> </ul>	農政課 ・田主丸産業振興課

② 安全な農村環境づくり	<p><b>農道の安全対策</b> 農道へガードレールやカーブミラーなどの交通安全施設を設置することにより、事故の未然防止を図った。 （宮ノ陣町他）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ガードレール設置 L=365m</li> <li>転落防止柵設置 L=293.5m</li> <li>路面表示、テリネーター等設置 7箇所</li> <li>決算額 6,527千円</li> </ul>	<p><b>農道等の安全対策</b> 農道へガードレールやカーブミラーなどの交通安全施設を設置することにより、事故の未然防止を図る。 （長門石町他）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ガードレール設置 L=400m</li> <li>転落防止柵設置 L=260m</li> <li>道路反射鏡、テリネーター等設置 3箇所</li> <li>予算 6,203千円</li> </ul>	農村整備課
	<p><b>ため池の安全対策</b> 設置済のフェンスなどの安全施設の点検パトロールを実施し、安全管理の徹底を図った。</p>	<p><b>ため池の安全対策</b> 設置済のフェンスや注意喚起看板などの安全施設の点検パトロールを実施し、安全管理の徹底に努める。</p>	農村整備課

主な事業

H27 年度実績

H28 年度計画

担当課

③ 農村生活環境の整備

農業集落排水処理施設の維持管理

農業集落排水処理施設の適正な維持管理を行うことで、農業用排水路の水質保全や農村生活環境の改善を図った。  
(実績 : 212,676 千円)

農業集落排水処理施設の維持管理

農業集落排水処理施設の適正な維持管理を行うことで、農業用排水路の水質保全や農村生活環境の改善を図る。  
(予算 238,000 千円)

上下水道部  
下水道整備課、  
下水道施設課

基本施策V：【農村】多面的機能の発揮と農村地域の活性化

個別施策11：農村地域の活性化

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
耳納北麓地域の交流人口	万人	180 (H25)	未公表	—	—	—	—	230

主な事業	H27 年度実績	H28 年度計画	担当課
------	----------	----------	-----

① みどりの里づくりの推進	<p><b>みどりの里づくり経済活性化支援事業等調査業務【新規】</b> 農業体験の実施や直売施設、飲食施設設置支援、緑花木農家体験民泊など新たな事業の検討・調査を行った。 ・委託先：NPO 法人久留米ブランド研究会 ・委託費：1,500 千円</p>	<p><b>耳納北麓地域体験事業等業務【新規】</b> 耳納北麓地域の素材（緑花木、果樹、野菜等）を活用し、農業の生産から収穫に至る過程を体験することを通じ、農業を主体とした経済活性化を図る。 H27 年度に実施した調査業務に基づき、地域生産者の農業体験を行う。</p>	みどりの里づくり推進課
	<p><b>散策ルートの設置推進</b> 耳納北麓5校区を繋ぐ散策ルートのサインを整備し、来訪者が自由に散策できる環境整備を行う。 ・H27 年度：山本校区、竹野校区 ・20,731 千円</p>	<p><b>散策ルートの設置推進</b> 耳納北麓5校区を繋ぐ散策ルートのサインを整備し、来訪者が自由に散策できる環境整備を行う。 ・H28 年度：山川校区 ・8,953 千円</p>	
	/	<p><b>フルーツ観光農園モデル整備事業【新規】</b> 久留米市キラリ創生総合戦略における「耳納北麓（職遊一体型）グリーンアルカディア創生パッケージ」対象地域内のフルーツ観光を推進するため、農園内の施設及び機器の整備について支援する。 (予算 3,000 千円)</p>	
	<p><b>世界のつばき館植栽管理</b> 久留米市世界のつばき館の適切な植栽管理を行い緑花木産業の振興を図る。 ・世界のつばき館樹木管理業務委託：3,269 千円 ・つばき園管理業務等委託：5,554 千円</p>	<p><b>世界のつばき館植栽管理</b> 久留米市世界のつばき館の適切な植栽管理を行い緑花木産業の振興を図る。 ・世界のつばき館樹木管理業務委託：3,423 千円 ・つばき園管理業務等委託：6,048 千円</p>	
	<p><b>拠点施設の管理運営</b> 指定管理者による、管理運営を行った。 ・指定管理者：(一財)久留米しみどりの里づくり推進機構 ・久留米市世界つつじセンター ・道の駅くるめ ・久留米ふれあい農業公園</p>	<p><b>拠点施設の管理運営</b> 指定管理者による、管理運営を行った。 ・指定管理者：(一財)久留米しみどりの里づくり推進機構 ・久留米市世界つつじセンター ・道の駅くるめ ・久留米ふれあい農業公園</p>	
	<p><b>拠点施設の管理運営</b> 指定管理者による、管理運営を行った。 ・指定管理者：(一財)久留米しみどりの里づくり推進機構 ・久留米市世界つつじセンター ・道の駅くるめ ・久留米ふれあい農業公園</p>	<p><b>拠点施設の管理運営</b> 指定管理者による、管理運営を行った。 ・指定管理者：(一財)久留米しみどりの里づくり推進機構 ・久留米市世界つつじセンター ・道の駅くるめ ・久留米ふれあい農業公園</p>	

主な事業	H27 年度実績	H28 年度計画	担当課
② 農業・農村の資源の活用		<b>農村地域の活性化策の検討</b> 九州大学と連携して、農村地域の資源を調査し、人を呼び込む地域活性化策を検討する。 新農業政策構築促進事業委託：1,000 千円(再掲)	みどりの里づくり推進課、農政課

**【基本施策Ⅴ「多面的機能の発揮と農村地域の活性化」：H28 年度施策の方向性】**

多面的機能の維持・発揮のため、国事業等を活用し、農業者だけでなく地域ぐるみの協働活動の拡大を図るとともに、安全対策等を実施していく。

九州大学と連携し、みどりの里づくりエリアを中心とした農村地域に、拠点施設や様々な資源を活用して、人を呼び込み経済を活性化させる事業を検討していく。